

## 公益社団法人 日本給食サービス協会会長賞

『パワーのみなもと』

鹿児島県始良市立永原小学校 四年 男子 前原 優月

ぼくは、保健・給食委員会で活動しています。毎日の給食のこんだてを黒板に書くのも大切な仕事です。ぼくがこんだてを書く黒板には、それぞれ使われている食材の名前が赤、黄色、緑に分けて書けるようになっていました。

「明日の給食も全部のグループの食材が入っている。」  
いっしょに黒板を書いていた友達が言いました。毎日食べる給食には、えいようがたっぷりです。

ぼくたちの学校には、「合同給食」という行事があります。いつもは、学級のメンバーで食べている給食ですが、全校児童がグループに分かれて地いきの人と食べるのです。同じグループには、他の学年の友達がいるので、とても新せんに感じます。合同給食の司会やクイズ作りをするのもぼくたちの委員会の仕事です。今回は「今日の給食に入っていない食材当てクイズ」、「箱の中の野菜当てクイズ」をしました。

食材当てクイズは、毎日給食の食材をチェックしているぼくには、とてもかんたんなクイズです。でも、クイズに答えるみんなは、

「なんだっけ。これ、むずかしいよね。」  
と口々に言います。ふだんよく目にする食材ですが、給食になって登場すると、味や見た目が変わるので、みんななかなか気づかないみたいです。食材をおいしい給食にへん身させている調理さんたちは、まほう使用のようです。

野菜当てクイズでは、ぼくたちが実さいに箱の中に手を入れて、さわり心地のヒントを出しました。それぞれの食材に特ちょうがあり、どんなヒントを出そうかすぐくまよいました。ぼくたちの体を作ってくれている食材を手の感じよくでも味わうことができ、ぼくたちだけちよっぴり特別です。

ぼくは、給食の時間が一番楽しみです。えいようたっぷりで、おいしい給食が食べられるからです。本当は、友達と

「おいしいね。」  
と語り合いながら食べたいですが、自分一人で給食と向き合う楽しさも知りました。いろいろな食材を使って作られる給食は、ぼくのパワーにつながっています。

ぼくたちのために、食材を作ってくださいなさっているすべての方々、食材をまほうのようにおいしい給食にへん身させてくださる調理しの方々から心からお礼を言いたいです。

「パワーのみなもとをありがとう。」